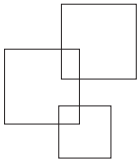


質問表題の右横にある2次元コードを読み取ると、それぞれの議員の一般質問の様子を全てご覧いただけます。



文化を育てるまちづくりについて



太田クラブ 白石 さと子

**議員** 本市の総合計画の基本目標には「スポーツや芸術、文化活動等の振興を通して、年齢を問わず誰もが学び続けること」とありますが、市民の文化活動の拠点である文化協会連合会の概要と活動状況について伺います。

**教育部長** 市内の文化・芸術活動を通じて文化団体の連携を図り、活動を助成することで市民の文化向上を目指すことを目的として平成20年に設立されました。太田市民文化祭の運営や両毛5市の文化協会交流事業などを行っています。



**議員** 文化芸術活動の拠点としての文化協会連合会の今後の事業展開について、市長に所見を伺います。

**市長** 市民文化の活動拠点として文化協会連合会の協力は欠かせず、国・県が力を入れているのが伝統文化の保存継承です。本市としては、文化方面の技術力を上げられる団体となるように支援し、義務教育と連携して若い世代に伝統文化の魅力を発信していきたいと考えています。

**議員** 文化功労賞や奨励賞を表彰することは本市の芸術文化の向上、発展のために重要なことと考えますが、所見を伺います。

**市長** 本市の芸術文化の分野で顕著な業績を上げられた人に文化功労賞や奨励賞を表彰することは、芸術文化の向上、発展につながると思いますので、今後も継続して貢献者を表彰していきたいと考えています。

■その他の質問  
▷こども計画策定について



カスタマーハラスメント対策について



公明党 高橋 えみ

**議員** 顧客という立場を利用し、従業員の心身の健康や職場環境に深刻な影響を及ぼす行為であるカスタマーハラスメント(カスハラ)に対し、令和8年10月より企業を対象に対策を義務付ける法律が施行されますが、概要について伺います。

**産業環境部長** 職場におけるカスハラ防止のための措置を講じることを事業主に義務付けたもので、方針の明確化と周知や啓発、相談体制の整備や周知などを求めるものです。

**議員** 社会全体で取り組むという観点から本市の支援が必要と考えますが、市内事業者や従業員がカスハラを相談できる窓口について伺います。

**産業環境部長** 企業内の窓口のほか、県の労働政策課に設置された県民労働相談センターで相談することができます。

**議員** カスハラ問題は人権尊重という本市の理念に直結する事案であると考えますが、カスハラ対策について

市長の所見を伺います。

**市長** 市役所においても職員の就業環境を守るために取り組むべき重要な問題であると認識しています。

**議員** 他市では、市独自の啓発ポスターの作成・掲示や通話の録音、報道機関を通じた周知により効果があったと聞いています。本市としても組織全体で実効性のある対策に取り組むべきと考えますが、所見を伺います。

**市長** 市民や事業者に対し、国や県、各種団体と連携して、市独自の啓発チラシを配布するなど、効果的に啓発していきたいと考えています。



スポーツでまちを盛り上げる施策について



創政クラブ 久保田 俊

**議員** 太田市運動公園の興行開催時における駐車場使用料のあり方について、市長の所見を伺います。

**市長** 有料駐車場の運用は、興行の規模内容が多様であり、統一基準や料金徴収対象など多くの課題があります。現在有料化の予定はありませんが、他自治体の類似施設などを参考にし、よりよい方策を検討していきたいと考えています。

**議員** にぎわい創出のため、サンダース通りの設置やバスターミナルをおたをサンダーススクエアとして演出する取り組みなど胸が踊るような仕掛けについて伺います。

**市長** 費用対効果を勘案しながら、バスターミナルおた周辺の空間活用を図り、まち全体を盛り上げていきたいと考えています。また、商工会議所からサンダースプロムナードに関する提案があった歩道のカラーリングについては、費用面や沿線の店舗との調整など課題があるため、商工会議所の協力も

得ながら、検討していきたいと考えています。



**議員** スポーツ文化向上のための今後の取り組みについて伺います。

**市長** 今後もさまざまな企業団体、ボランティアの人たちと協働を深め、地域課題の解決を図るとともに、オープンハウスアリーナ太田を核としたスポーツを通じた持続可能なまちづくりを推進していきたいと考えています。

■その他の質問  
▷太田市都市計画マスタープランにみる本市の土地利用について



本市のまつりの支援について



志友会 高木 きよし

**議員** 本市を代表する尾島ねぶたまつりの運営の課題について伺います。

**産業環境部長** 尾島ねぶたまつりは、市からの負担金や企業からの協賛金などで運営していますが、昨今の物価高などの影響で協賛金が減少しており、運営費の捻出に苦慮しています。



**議員** 協賛金はまつり運営の基盤であり、地域の絆を深める役割も担っていますが、年々確保が難しくなっており、その対策について伺います。

**産業環境部長** 今年度は初めてクラウドファンディングを導入しました。今後も協賛金以外の方法を研究しながら、

まつりの事業費を生み出していきたいと考えています。

**議員** 今後の地域のまつりにおける補助金の方向性について伺います。

**地域振興部長** 合併前から支援しているまつりは、引き続き支援し、1%まちづくり事業補助金は見直しにより単独行政区のまつりも対象とします。

**議員** 尾島ねぶたまつりは40周年を迎え、今では県を代表するまつりの一つとなりましたが、市長の所見を伺います。

**市長** 伝統のある地域が一体となったまつりであり、引き続き維持していくことが最も重要だと考えています。

**議員** 物価高騰などの影響で以前にも増して費用が必要となりますが、負担金について、所見を伺います。

**市長** 予算全体のバランスを考慮しつつ、基本的には増やす方向で対応したいと考えています。

■その他の質問  
▷長楽寺境内の蓮池の課題について